



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社小田原機器 上場取引所 東  
 コード番号 7314 URL https://www.odawarakiki.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 明義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 佐藤 健一 TEL 0465-23-0121  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	2,962	△40.2	△98	—	△80	—	△124	—
2019年12月期第3四半期	4,951	188.2	310	—	320	—	263	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △165百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 291百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△40.09	—
2019年12月期第3四半期	85.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	5,240	3,576	68.3	1,150.33
2019年12月期	7,133	3,794	53.2	1,226.93

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 3,576百万円 2019年12月期 3,794百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,078	△18.3	208	△17.3	207	△21.2	148	△23.7	48.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	3,110,100株	2019年12月期	3,094,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	989株	2019年12月期	989株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	3,102,529株	2019年12月期3Q	3,090,611株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって企業への休業要請や外出自粛による移動制限を背景に、景気は急速に悪化しております。景気の先行きにつきましては、経済活動の再開により一部で持ち直しの動きがみられるものの、未だ収束の見通しがつかないことから依然として不透明な状況が続いております。

そうした厳しい環境のなか、当社グループ製品の主要市場である路線バス業界においては、首都圏の設備更新需要に加えて、関西圏における運賃箱の代替投資等が見込まれており、前期に引き続き「首都圏向け運賃箱」を市場に投入し、拡販に努めてまいりました。しかし市況悪化の影響を避けることは難しく売上・利益ともに低調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,962,399千円（前年同四半期比40.2%減）、営業損失は98,842千円（前年同四半期は310,251千円の営業利益）、経常損失は80,485千円（前年同四半期は320,686千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は124,381千円（前年同四半期は263,580千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,764,966千円減少し、4,147,758千円となりました。これは主に、現金及び預金が1,055,067千円、売上債権が653,447千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて127,934千円減少し、1,092,382千円となりました。これは主に、投資有価証券が117,979千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,720,675千円減少し、1,195,491千円となりました。これは主に、短期借入金が230,000千円、賞与引当金が30,665千円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が1,488,000千円、未払消費税等が186,711千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて46,173千円増加し、468,140千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて218,400千円減少し、3,576,508千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失124,381千円を計上したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での2020年12月期の業績見通しにつきましては、2020年2月13日に決算短信で公表した内容から変更ありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,106,201	2,051,133
受取手形及び売掛金	1,241,963	594,854
電子記録債権	43,286	36,947
有価証券	70,031	50,170
商品及び製品	19,702	5,215
仕掛品	917,814	867,663
原材料	448,382	470,359
未収還付法人税等	—	11,116
その他	76,463	65,692
貸倒引当金	△11,119	△5,395
流動資産合計	5,912,725	4,147,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	183,299	168,730
機械装置及び運搬具（純額）	15,734	12,281
土地	218,236	218,246
その他（純額）	64,275	49,090
有形固定資産合計	481,546	448,349
無形固定資産		
のれん	82,367	119,455
その他	103,648	89,612
無形固定資産合計	186,015	209,067
投資その他の資産		
投資有価証券	395,023	277,044
繰延税金資産	99,259	84,777
その他	82,657	97,329
貸倒引当金	△24,186	△24,186
投資その他の資産合計	552,755	434,965
固定資産合計	1,220,317	1,092,382
資産合計	7,133,042	5,240,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	313,697	322,432
電子記録債務	263,847	155,959
短期借入金	120,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,521,480	33,480
未払法人税等	47,104	—
賞与引当金	44,858	75,523
製品保証引当金	167,158	129,940
受注損失引当金	—	105
その他	438,020	128,049
流動負債合計	2,916,166	1,195,491
固定負債		
長期借入金	83,770	137,660
役員退職慰労引当金	3,123	4,462
退職給付に係る負債	277,817	236,007
資産除去債務	13,133	19,576
その他	44,122	70,433
固定負債合計	421,966	468,140
負債合計	3,338,133	1,663,631
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	324,423	327,160
資本剰余金	304,423	307,160
利益剰余金	3,085,353	2,902,204
自己株式	△513	△513
株主資本合計	3,713,686	3,536,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,222	40,496
その他の包括利益累計額合計	81,222	40,496
純資産合計	3,794,909	3,576,508
負債純資産合計	7,133,042	5,240,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,951,601	2,962,399
売上原価	3,646,907	2,298,746
売上総利益	1,304,694	663,652
販売費及び一般管理費	994,442	762,494
営業利益又は営業損失(△)	310,251	△98,842
営業外収益		
受取利息	590	545
受取配当金	5,189	2,320
受取保険料	13,135	2,473
助成金収入	—	9,692
貸倒引当金戻入額	—	5,724
その他	3,037	2,587
営業外収益合計	21,951	23,342
営業外費用		
支払利息	10,766	4,319
その他	749	666
営業外費用合計	11,516	4,985
経常利益又は経常損失(△)	320,686	△80,485
特別利益		
投資有価証券売却益	—	132
特別利益合計	—	132
特別損失		
固定資産除却損	17	162
投資有価証券売却損	630	—
特別損失合計	648	162
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	320,037	△80,515
法人税、住民税及び事業税	83,323	9,602
法人税等調整額	△26,866	34,263
法人税等合計	56,457	43,865
四半期純利益又は四半期純損失(△)	263,580	△124,381
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	263,580	△124,381

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	263,580	△124,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,462	△40,725
その他の包括利益合計	27,462	△40,725
四半期包括利益	291,043	△165,107
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,043	△165,107
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（連結の範囲の重要な変更）

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立し事業承継した株式会社アズマを連結の範囲に含めております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、財政状態及び経営成績に及ぼす影響が不透明な状況であり、当社グループの業績にも影響を及ぼす可能性があります。繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りに関しては翌連結会計年度はこの影響も概ね収束するとの仮定に基づき見積りを行っております。

なお、当第3四半期連結会計期間における会計上の見積りは最善の見積りであるものの、新型コロナウイルス感染症による影響は不確実性が高いため、収束時期の遅れなど今後の状況の変化により判断を見直した結果、将来の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

（企業結合等関係）

吸収分割による事業承継

当社は、2020年5月11日に100%子会社を設立し、2020年5月14日開催の取締役会において、株式会社アズマ（奈良県生駒郡）を吸収分割会社とし、当該100%子会社（株式会社アズマ：神奈川県小田原市）を吸収分割承継会社とする吸収分割契約を締結することを決議しました。また、同日付で、株式会社アズマと当社の100%子会社の間で吸収分割契約を締結し、本契約に基づき、2020年7月1日に事業承継を完了いたしました。なお当社の100%子会社は2020年7月1日に本社を奈良県生駒郡に移転しております。

1. 企業結合の概要

(1) 吸収分割会社の名称及び事業の内容

吸収分割会社の名称：株式会社アズマ

事業の内容：小型電子計算機及び電子計算機部品の製造販売、各種電子計算機器の製図設計の請負、ソフトウェアの開発およびソフトウェアに関連する一切の業務、プリント基板コンピュータグラフィック設計及び製造販売、プリント基板組立配線、労働者派遣事業

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社アズマにて長年蓄積された基板設計のシステム開発に係る技術及び通信関連技術のノウハウを当社グループに統合することにより、当社グループにおけるソフトウェア開発の効率化及び開発ノウハウの伝承が可能となり、その結果、公共交通事業における新たな事業展開の足掛かりを含め、新たな付加価値及びシナジーが創造されるものと見込んでおります。

(3) 企業結合日

2020年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式会社アズマを吸収分割会社とし、当社の100%子会社を吸収分割承継会社とする吸収分割であります。

(5) 結合後企業の名称

株式会社アズマ

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の100%子会社が現金を対価として株式会社アズマの事業を承継することによるものであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2020年7月1日から2020年9月30日まで

3. 取得する事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価（現金） 85百万円

取得原価 85百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 20百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

(1) 発生するのれんの金額

58百万円

のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来される超過収益力によるものであります。

(3) 償却方法及び償却期

効果の発現する期間にわたる均等償却。なお、償却期間については、取得原価の配分の効果を踏まえて決定する予定であります。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	運賃收受機器 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,771,334	180,266	4,951,601	—	4,951,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	99,577	99,577	△99,577	—
計	4,771,334	279,844	5,051,179	△99,577	4,951,601
セグメント利益	279,712	33,079	312,792	△2,540	310,251

- (注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。  
2. セグメント利益の調整額△2,540千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	運賃收受機器 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,810,293	152,106	2,962,399	—	2,962,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	100,611	100,611	△100,611	—
計	2,810,293	252,717	3,063,010	△100,611	2,962,399
セグメント損失 (△)	△49,289	△36,110	△85,400	△13,442	△98,842

- (注) 1. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。  
2. セグメント損失の調整額△13,442千円は、主にセグメント間取引消去であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「システム開発事業」セグメントにおいて、新たに設立し事業承継した株式会社アズマを連結の範囲に含めております。これに伴うのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間において58百万円であります。なお、当該のれんの増加額は、暫定的に算出された金額であります。